

**製品名: CSHL1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87463**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:25 kDa; Observed MW:25 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CSHL1
別名	CSL; CS-5; GHB4; CSHP1; hCS-L
遺伝子ID	1444
SwissProt ID	Q14406
免疫原	ヒトCSHL1の組み換えタンパク質

**背景**

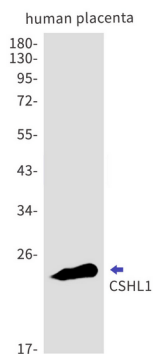
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、成長制御に重要な役割を果たす成長ホルモン/プロラクチンファミリーのホルモン

です。この遺伝子は、他の4つの関連遺伝子とともに、17番染色体上の成長ホルモン遺伝子座に位置し、同じ転写方向で散在しています。この配置は、一連の遺伝子重複によって進化したと考えられています。5つの遺伝子は非常に高い配列相同性を共有していますが、それぞれ異なる組織で選択的に発現します。このファミリーメンバーは、当初は偽遺伝子と考えられていましたが、胎盤絨毛で発現しています。実際、選択的スプライシングは、転写産物の大部分が分泌タンパク質を発現できないことを示唆しています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



CSHL1 抗体 (1:1000 希釈) を使用したヒト胎盤細胞溶解物中の CSHL1 のウエスタンブロット検出。